



中部圏知事会が確保対策で国に緊急提言

富山・石川・福井・長野・岐阜・静岡・愛知・三重・滋賀 + 名古屋市長

中部圏知事会（富山・石川・福井・長野・岐阜・静岡・愛知・三重・滋賀・名古屋市長）の9県1市が、「医療人材の確保対策について緊急提言」を発表し、国に対策を早急に講じるよう提言を行ないました。

提言では、医師不足について、診療科偏在やへき地の不足問題について依然として具体的かつ効果的な対策が提示されていないことや、新臨床研修制度の影響でへき地の不足の進行を指摘。

看護師不足では、診療報酬改定で「7対1」が新設されたことに伴い、一部の大病院が大量募集に動き始め、その影響で中小病院で看護師不足が生じていると指摘。看護師確保対策では、「7対1」の看護区分の運用について、当分の間、特に手厚い看護を必要とする病棟単位の算定方式を導入するなど、看護師需給動向に十分配慮した見直しを早急に行なうこと、と対策を求めています。

石川県医労連

看護師確保対策で厚労省に要望

石川県健康福祉部長

石川県健康福祉部長は、厚労省保険局医療課長と、総務課長あてに、「看護師確保対策についての要望」を10月付けで提出しました。

今まで、「不足」という言葉は使っていなかった行政文書で、「医師不足」「看護師不足」という言葉が使用されている点は、これまでの運動の世論化の成果かな、と馬渡書記長は語っています。

看護師確保対策についての要望

今回の入院基本料にかかる診療報酬の改定による「7：1」の看護区分の新設は、一部の大病院による看護師の大量募集により、中小病院の看護師確保への影響が生じていることが指摘されているところであり、その運用について次の通り要望します。

本年4月の診療報酬改定で新設された「7：1」の看護区分の運用については、当分の間、手厚い看護を必要とする病棟単位の算定方式を導入するなど、看護師の需給動向に十分配慮した見直しを早急に行なうこと。

平成18年10月

厚生労働省保険局医療課長

総務課長

殿

石川県健康福祉部長

よもやま話(愛知県)

看護師確保対策で労働条件改善!

看護師の求人・離職防止対策について、愛知県内の状況が原書記長から報告されました。

愛知厚生連では、「初任給調整手当 8000 円、2 年目から 39 歳まで暫定手当 4000 円を支給、中京病院では、看護師に職務特別手当を支給、南知多病院では、看護職の賃金 2 万円・准看護師 1 万円のアップ、名古屋市大では、来年初任給手当てをアップ予定、春日井市民は奨学金のアップ、豊川市民ではパート看護師の時給を 1100 円から 1500 円にアップ、南知多(+50 円)春日井でも時給のアップ、独身寮としてマンションの借り上げや整備(名古屋大学・名古屋大・みなと病院)院内保育所の改善が、男性にも対象拡大と延長保育(中京)24 時間保育(中部労災・大同病院)

鹿児島医療生協労働組合

看護労働改善委員会委員長 加藤 裕子

夢を語ろう

「7対1」になったらこんな看護ができる!

「もっとケアをしたい」「もっとゆっくりお話を聴きたい」「今日こそはやるぞ」と思って出勤しても、「あ～あ、今日もできなかった～」という日々が続き、「苦しい」と泣く仲間。つらくてやめてしまう仲間。

希望をまず持ちたい! ということで『7対1』の夢を語ろう』という合宿を行いました。現状からの出発



ではなく「イメージ療法」を取り入れて【来春から「7対1」が実現します。看護師は毎日日勤17人、夜勤4人、有休もしっかり消化、学習会にも病院の費用もちで公休で参加、人はたくさんいるのでゆったりと時間が流れます。どんな看護をしたいですか?】こんな投げかけでディスカッションがスタート。司会役のファシリテーターは、みんなが現実に戻らないように促してゆくことと、お互いの意見を絶対に否定しないことを注意しながらすすめます。このディスカッションでは、「ゆっくり話したい」「患者さんを癒してあげられるスキルを身につけたい(アロマセラピー・マッサージ・カウンセリングスキルなど)認知症の患者さんの思いのわかる看護師になりたい、苦悩する患者さんへ心に寄り添う看護がしたい。このような熱い討論ののち、そうなるために今私たちは何をしたら良いだろうかとさらにディスカッション。秋闘でのたたかいを誓い合いました。

秋闘で14名の増員獲得

団交までの職場会議では、参加者が積極的に増員を訴えました。そして団交では、人手不足で病欠者が続出していることや、もっといい看護がしたいから人を増やしてほしい、「7対1」看護を実現したいと多くの訴えがありました。年末一時金は昨年並みという回答だけでは満足せず、今年度中の増員、「7対1」看護の早期実現を約束させて、この秋闘は終結しました。あらためて、全労組員がいい医療より、よりよい医療・看護を求めていることを実感。さらに一人もやめない生き生き働きがいのある職場めざし、あつく語り合い行動したいと思えます。